

消化器内科 Part1

便秘はなぜ治さなければならぬだろうか？ どう治せばいいのか？

高齢化社会で便秘症を患う方は爆発的に増加している。これまで便秘症は生活の質を落とすが死ぬような病気ではないと考えられていた。しかし最近の大規模疫学研究では便秘の方は死亡することが多いことが明らかにされ、便秘は死ぬ病気であることが医療者の間では認識されるようになってきた。さらに、便秘は認知症をはじめ様々な病気にかかりやすくする可能性があることもわかってきた。便秘は健康で長生きするためにはまさに治療しなければならない病気であることが分かってきたわけである。



さて、では便秘の治療はどうするべきか。生活習慣、特に食事で工夫する方も多いが、治療効果があればいいがない場合は早めに医療機関を受診されることをお勧めする。便秘の原因で中年以降は大腸がんなどが隠れているからである。治療もただ薬を飲めばいいというものではないすっきりした排便、長生きできる排便はどうあるべきかを本講演では詳しく解説したい。

日時 2024年5月25日(土)

【受付】13:30～ 【講演】14:00～15:00

場所 7階 大会議室

講演者 中島 淳先生

横浜市立大学大学院医学研究科 肝胆膵消化器病学教室 主任教授
神奈川歯科大学附属横浜クリニック 特任教授

【申込方法】電話または1F 総合受付にて事前申し込みをお願いいたします。

電話：045-313-0007（代表）

※電話受付時間 10:00～17:00 ご協力をお願いいたします。

【予約・問合せ】神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニック

地域医療連携室 ホームページ：<http://www.hama.kdu.ac.jp>

※横浜クリニック内では今までと同様、館内ではマスクを着用するようご協力をお願いいたします。

QRコード

